

「武庫川周辺阪急新駅に関する検討会」の協議状況等について

1 検討会の概要

(1) 主旨

武庫川周辺に阪急電鉄の新駅が設置された場合のまちへの影響（効果）などについて検証するため、阪急電鉄、兵庫県、西宮市及び尼崎市の4者において、平成25年7月から1年間に数回程度の頻度で不定期に会議を開催している。

(2) 主な協議内容

駅周辺エリアにおける土地利用、人口動態、パーソントリップ調査結果に基づく人の流動状況、新駅が設置された場合の影響・効果、新駅事例視察 等

(3) 検証結果の公表（報告）

検討会議において検証を行った結果について、平成28年度中に報告書として公表することを予定している。

【報告書の内容】

新駅の影響・効果

- ・ 新駅の有無による将来人口の差（駅勢圏概ね1km²）
- ・ 新駅を設置した場合の税収増の見込み（駅勢圏概ね1km²）
- ・ 近隣鉄道駅の駐輪場問題解消への効果

新駅の有無による将来人口の差及び税収増の見込みについては、あくまで駅周辺概ね1km圏域に限られた粗い推計であり、市全体の人口及び税収の影響を示すものではない。

新駅の設置に対する課題

2 尼崎市の新駅設置への考え方

武庫川周辺阪急新駅については、兵庫県、西宮市及び阪急電鉄が参加する検討会に出席し、新駅予定地周辺における人口動態や経済シミュレーション等について、情報交換を行ってきた。

しかしながら、新駅の設置には、駅舎や道路等の周辺のインフラ整備に要する多額の費用負担が見込まれており、喫緊に対応すべき様々な政策課題を抱える中、現在の本市の厳しい財政状況を踏まえると、積極的に新駅設置を推進する状況にはない。

以上